

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



1月の銅の概況及び2月の見通し(1)

銅は“金融資産”へ、実需を超えるマネーの波!

予想レンジ

LMEセツル 12,900 - 14,000 ドル ☀

建 値 207万円 - 231万円 ☀

為 替 155円 ~ 160円 レンジ内
(1か月間T T M)

■国際概況

1月のLME銅相場は、金融要因主導で神経質な展開となっている。

上昇要因は、米国のインフレ沈静化を背景とした利下げ時期前倒し観測によりドル安基調が強まり、投資マネーが非鉄金属へ回帰している点。

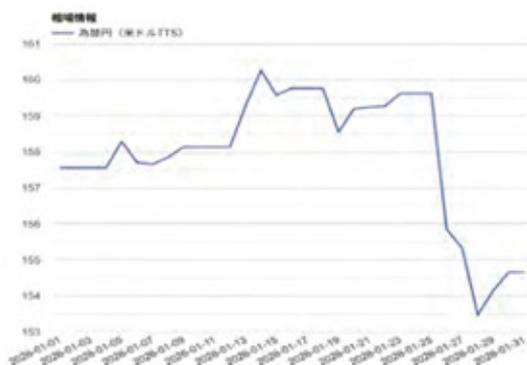
また、中国の年初インフラ投資再始動や電力・EV関連需要への期待が、銅の中期需給にタイト感を意識させている。

一方、下落要因は、欧米景気減速懸念が根強く、実需回復が期待先行にとどまっていることに加え、南米鉱山の供給回復による在庫増加懸念が上値を抑制している点である。

総じて1月相場は材料待ちの高値圏もみ合いとなっている。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (T T S)
157.86 → 154.66 (円)



(つづく)

LME公式値週間推移

1月13日～1月16日

